



広報

昭和47年 9月20日

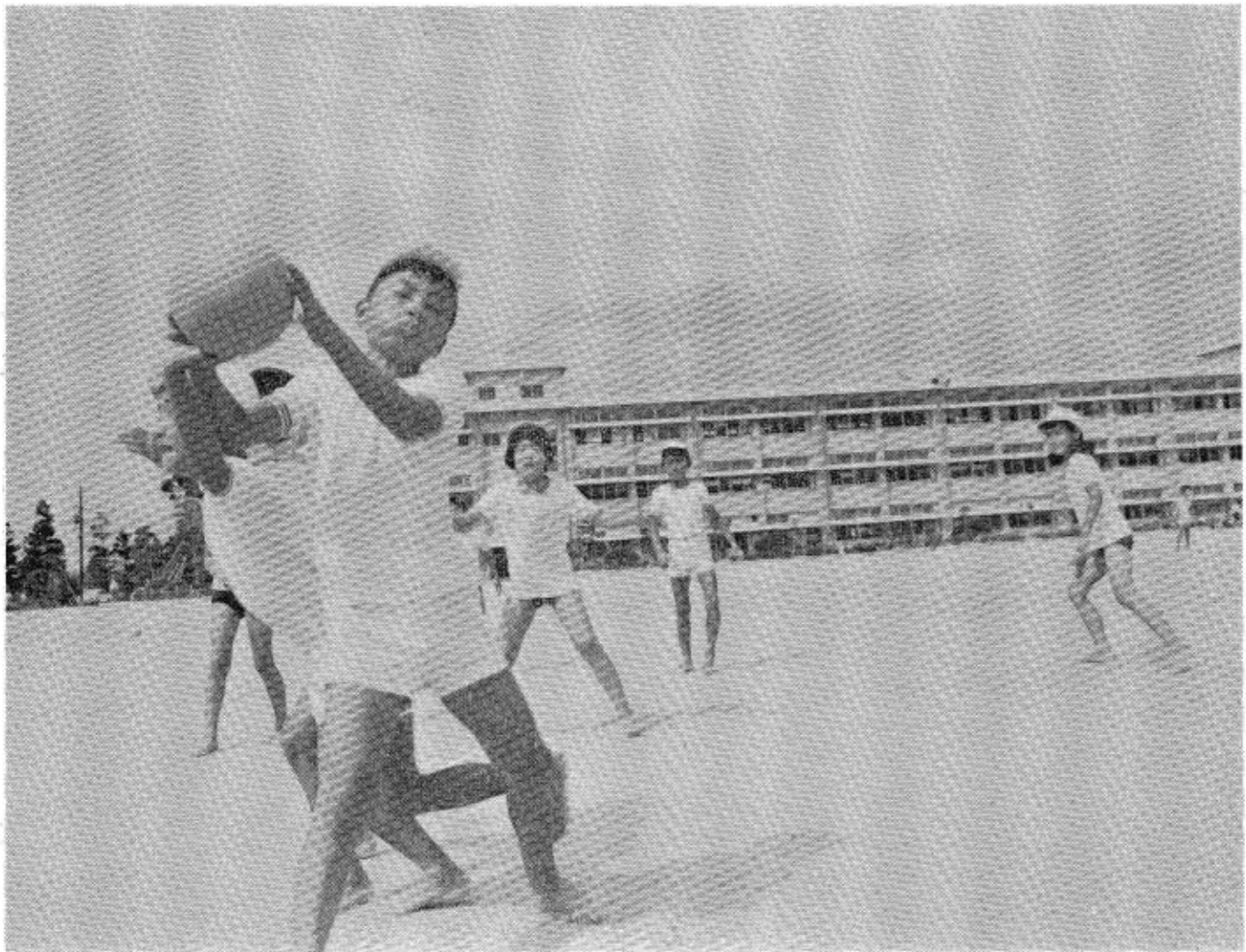
No. 114

あいお

人口と世帯数

(9月1日現在)

人 口	9482 人
男	4507 人
女	4975 人
世 帯 数	2397世帯



元気な子どもを 育てよう

九月から二学期が始まり子供達は長い夏休の自由な生活から規則正しい生活へとかわり初めは学校生活になれるのに少し苦労したかと思いがこの頃になると規則正しい学校生活も身につき勉強にも充分身が入る様になったかと思えます。

これからは、気候もさわやかに学校においては子供達は楽しい運動会の練習などで、運動をすることが多くなります。この時期に充分運動をさせ寒さにも負けない元気な子どもに育てましょう。

表彰は六区

県知事選挙の投票

投票総参加運動を展開いたしました八月二十七日の山口県知事選挙の投票率は有権者皆様方の政治参加の御理解と区長さんをはじめ各位の御協力によりまして六十九・二四パーセントと県下の町村平均投票率には到達することができま

した前回の五十三・八一パーセントの投票率を上廻ること十五・四三パーセントで、これは山口県下十四市四十二町村ありますなか

りますなか好成績を認めしております有権者皆様

の自覚と政治への関心が高まりつゝあるものと思っております。

投票率の各区の成績は別表のとおりですが、当初投票率の優秀な区は五位まで表彰することとしたしておりますが、

東天田 八三・一六

宮の旦 八〇・〇〇

の六区を表彰いたしました。

今後とも有権者皆様方の一票は政治につながる大切な一票であることを自覚され棄権のないようお願いいたします。

赤崎 八五・四三

東本町 八四・三一

海岸通 八四・二六

花香南 八三・五八

花 八三・五八

赤崎 八五・四三

東本町 八四・三一

海岸通 八四・二六

花香南 八三・五八

花 八三・五八

赤崎 八五・四三

東本町 八四・三一

海岸通 八四・二六

花香南 八三・五八

花 八三・五八

赤崎 八五・四三

東本町 八四・三一

海岸通 八四・二六

花香南 八三・五八

花 八三・五八

山口県知事選挙投票率

部落名	%	部落名	%
大河内北	46.34	花香北	69.57
大河内南	46.75	中津江	74.55
天神町	58.95	屋戸	57.55
浜中	78.14	加茂町	72.41
北条	73.27	海岸通	84.26
中条	68.03	東本町	84.31
井南	66.67	上本町	62.81
浜内	71.74	本町	74.81
小浜	60.40	祇園町	64.60
赤崎	85.43	下村	74.32
日地	62.85	中野	76.57
山嶺	56.64	東天田	83.16
西青江	73.53	西天田	68.61
先青江	77.21	宮之旦	80.00
中道	61.27	黒湯北	68.49
花香南	83.58	黒湯南	62.50
計		計	69.24

町職員の変動

九月一日付で、次のように職員の変動を行いました。()内は旧

住民課長 井方 敏弘

(施設課長)

保険年金課長

三好 修治

(税務課長)

税務課長 松崎 肇一

(保険年金課長)

施設課長 岡広 勘二

(産業課長)

産業課長 西村 讓治

(議会議務局長)

秋楽園組合長 福田 雅二

(住民課長)

議事事務局長

岡田 昭治

(教育委員会事務

兼事務局長)

大海支所長

大田 正己

(農業委員会事務

局)

国民宿舎秋穂荘事務長

松村 祐策

(施設課庶務係

長)

教育委員会事務局

学校給食センター所長

兼事務局長

吉田 典人

(大海支所長)

局主査総務係長

兼学校給食セン

ター所長)

中川 忠雄

(住民課住民係長)

末富 満治

(国民宿舎秋穂荘

事務長心得)

住民課住民係

長

平田 一夫

(総務課財政係)

総務課財政係

道中 義春

(税務課)

八十パーセントを超える区が六区ありましたのでこれを全部表彰することとした結果決定し去る八月三十一日町長室において

赤崎 八五・四三

東本町 八四・三一

海岸通 八四・二六

花香南 八三・五八

免除になっている

保険料は

追納しておきましょう

国民年金の保険料をどうしても納めることができない場合には申し出により保険料の納付が免除されますがこの申出をして保険料の免除を受けた人でその後ある程度余額が出来て免除されている保険料をいまからでも納付したいという人のために保険料の追納という制度があります。

この追納という制度は定められた手続を経て保険料の免除を受けている人にも適用される制度で追納の出来る期間は免除された保険料を納めようとする日から逆って十年以内の保険料

で納める保険料の金額は免除された当時の保険料です。国民年金の老令年金の額は保険料を納めた期間と保険料を免除されている期間とに分けて計算されますが保険料を免除されている期間の老令年金は保険料を納めた期間の半分に減額されることになっていますから将来年金を受けるときに備え

保険料の免除を受けている人は余額が出来次第免除されている期間の保険料を追納するようにいたしましょう。保険料の追納について詳しいことは保険年金課にお問合せ下さい。

東天田 八三・一六

宮の旦 八〇・〇〇

の六区を表彰いたしました。

今後とも有権者皆様方の一票は政治につながる大切な一票であることを自覚され棄権のないようお願いいたします。

赤崎 八五・四三

東本町 八四・三一

海岸通 八四・二六

花香南 八三・五八

花 八三・五八

秋の交通安全健民運動

運動期間 九月二十二日

十月一日

今年も秋の交通安全運動が全国一斉に行なわれることになりました。

交通安全による死傷者は勿論のこと交通事故を起した被害者、加害者共に事故



くしまししょう。

秋の交通安全運動は次の点を重点に行ないます。

- 歩行者事故、とくに子どもと老人の事故を防止するため、つぎの施策を中心に徹底して実施します
- 一、交通安全指導の強化
- (1) 子どもと保護者については母親ぐるみの指導
- (2) 老人については、正しい歩行と自転車利用についての指導。
- (3) 運転者については、子どもと老人の保護意識を高めて、安全運転の励行を徹底させる。

◎道路の見透しを良くするため、樹木の枝打ち
土手の草刈などを行ない危険防止につとめましょう。

旧軍人、軍属および遺族の皆様のために移動援護相談が開かれます

◎戦傷病者の皆さんへ

旧軍人軍属または準軍属で公務又は在職中の職務に関連して受傷り病してその障害が残っている方には傷病恩給や障害年金の支給、国鉄、無賃車券引換証の交付療養給付等の制度があり、また戦傷者の妻にも特別給付金

の支給制度があります

◎戦没者遺族の皆さんへ

旧軍人軍属で日華事変以後に隊中の傷病により死亡された方および準軍属(被徴用者動員学徒)で大東亜戦争中に業務中にかかった傷病により死亡された方(家に帰って死亡した場合も含む)の遺族には公務扶助料遺族年金遺族給与金弔慰金等の支給制度があります。

◎旧軍人の皆さんへ

旧軍人で戦地や外地で勤務したこと内地部隊で事変勤務に従事したこと航空機戦車等に乗務したこと等のある方は勤務年数に計算がつかますから実際の勤務年数とその加算年数を合わせて恩給年限に達すれば恩給が、また下士官以上の旧軍人(年が一年以上の者に限り)で引続く三年以上七年未満の实在職年があれば一時恩給がうけられます

なお定例叙勲の発令者に対する勲記、勲章の伝達ならびに昭和十五年四月二十九日付けで旧金鷲勲章を受章された方に対し銀杯等が贈られます。

◎未帰還者の家族の皆さんへ

終戦後外地からまだ帰

還していない方については家族から届出をすることになっています。

注

とくに遺族援護相談につきましては、なるべく手持の資料または帰郷後死亡までの症状経過について年月を追って記述した申立書等を持参して下さい。なお初度の請求相談については法務局保管の死亡診断書を取りよせておいて下さい。

以上のことについて左記のとおり移動援護相談が行なわれますので希望者は関係資料をもって都合のよい会場でご相談下さい。

相談期日及び会場

一、昭和四十七年十月四日 午前九時半より午後二時半まで

二、昭和四十七年十月六日 午前九時半より午後二時半まで

防府市役所中庁舎第一会議室

小郡町公民館にて

海は
きれいに

瀬戸内海環境保全月間(八月一日～三十一日)にちなんで、大海漁協婦人部は

地区住民の協力を得て八月九日午後より大海海岸一帯を一斉に、清掃作業を行いました。海岸には七月豪雨による、わらゴミ、プラスチック、ガラス容器等が沢山ありましたが皆さんの協力ですべてきれいな海岸に生まれ変わりました。又これに関連して海底にあるゴミをきれいにする昭和四十七年度漁場環境維持保全委託事業(国から委託事業)を、秋穂町と山口市が指定を受け、秋穂町と山口市の水域を延一五〇隻の漁船で海底清掃することになっております

税関等で保管した

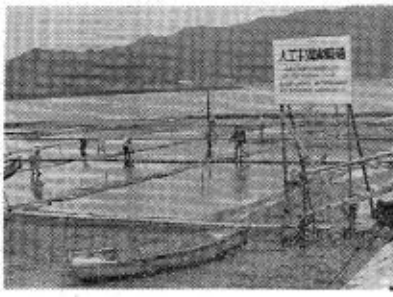
通貨、証券等の

返還について

終戦後海外から本邦に引揚げた軍人、軍属、一般邦人が本邦に上陸の際、税関等に寄託された通貨、証券については税関に保管中で返還請求された物件と保管物件が一致している場合にはただちに返してくれますので税関等に寄託された方は本邦に上陸した港を所轄する税関に照会して下さい。なお所轄税関等については町保険年金課へお尋ね下さい。

車エビの生育順調 大海湾の 人工干潟放流

世界で最初の試みで計画された車エビ人工干潟放流実験は昭和四十七年度から昭和四十九年度にかけ国営事業として水産庁南海海区水産研究所（広島県大野町）を中心に農林省農業土木試験場（神奈川県平塚市）山口県内海水産試験場の共同体制で秋穂町小浜地先を中心として大海湾で実験研究を行っております。今年度は人工干潟〇・六haを造成し三つの異った干潟を造り稚仔生育実験を行いました。又これに関連して自然放流（海に直接放流）を大海湾に九〇〇万匹穂穂湾に一〇〇万匹計一〇〇〇万匹の放流を行っております。



今年度の人工干潟での試験成果は当初の目標を上廻る定着率を示し生育状況も大変

良好と出ております。又、車エビの漁獲量を昨年と比べてみても建網、底曳漁業とも大幅に増えて周辺の漁家のみなさんにも良い結果を与えております。来年度の計画としては人工干潟の規模を四haに拡大して大がかりな実験研究を行なうことになっております。

住みよい社会をつくる郵便貯金

国民の生活に結びついて広くご利用いただいている郵便貯金は、年々順調な増加を続け、その貯金高は一〇兆円をこえる巨額に達しています。

この貯金は、国の財政投融資の一環として運用され国民福祉の向上に係る深い住宅建設の促進公害の防止、生活環境施設の充実、農林漁業、中小企業の近代化、文教施設の拡充および道路、空港、鉄道の建設など社会資本の充実にたいへん役立っています。

豊かな暮らしをつくり、明るい社会を築いていくためには、財政投融資の大きな資金源である郵便貯金の働きがいっそう必要であります。

当町でも現在二七件で一億一千三百三四万円の融資を受けて、小中学校の建築、

公民館の建設、漁港等の災害復旧、補強、清掃車の購入資金として、郷土発展のために大きな役割を果たしております。

そこで、郵政省では一〇月「住みよい社会をつくる郵便貯金奨励運動」を展開しております。

私たちの町づくり、村づくりに大きく貢献している郵便貯金の使命をじゅうぶんに理解いただき、今後ともいっそうご利用いただきま

すようよろしくお願い申し上げます。

一、期間 九月二十八日から

消費生活展

開催される

山口県消費生活センターが開設され二年を経過しましたが最近経済の高度成長と技術革新により私達の生活水準は急速に向上してきました。

その反面、公害・欠陥商品、物価問題等豊かさの中にヒズミを生じており、消費者の関心は非常に強くなっています。

そこで「豊かさを考える」をテーマとして第三回消費生活展が次のように開かれます。

秋の収穫期が近づいてまいりましたが爆音器の使用について次の事項に注意して他人に迷惑のかからないよう努めましょう

▼設置の場所は、住宅、道路、畜舎等より充分巨離を保つこと。▼早朝、夜間には絶対に発音させないこと。▼危険が伴うため子供が近付かないよう留意すること。

- 一、時間 九月三十日まで 午前九時から 午後五時まで
- 二、会場 山口県消費生活センター

- 四、内容 (1) 消費生活に関する展示 (2) 消費生活相談所の開設 (3) コンピューターによる家計診断 (4) 商品の簡易テスト法 (5) 冷暖房器機・給湯器の展示

自転車で転び負傷したときは直ちに警察へ！

最近自転車を運転し道路において転倒負傷したとき警察への届出が遅れ、実際に自転車事故によって負傷されたものかどうか判定に苦しむ結果となっていると警察署より連絡があります

(交通安全共済用)

- 一金参千円也 花香北 国弘 豊文
- 一金参千円也 祇園町 松村サダ子
- 一金参千円也 浜内 小林 英夫
- 一金参千円也 先青江 木村 房雄
- 一金参千円也 中野 内田 武文
- 一金参千円也 花 香 平田 春雄
- 一金参千円也 花 香 平田 春雄
- 一金参千円也 花 香 平田 忠
- 一金参千円也 海岸通 伊藤 恒夫
- 一金参千円也 加茂 上田 滋
- 一金参千円也 東本町 伊藤 京次
- 一金参千円也 天神町 松崎 和吉
- 一金参千円也 赤崎 道中 英雄
- 一金参千円也 赤崎 道中 一生
- 一金参千円也 本町 松本 武子
- 一金参千円也 大河内北 若村 義人
- 一金参千円也 浜内 吉田 浩
- 一金参千円也 北条 山田 久幸
- 一金参千円也 小浜 外富 忠孝
- 一金参千円也 全参万円也

善意銀行からの御礼

次の方々から善意のご預託がありました誠に有難く厚く御礼申し上げます (敬称略)

- 一金参千円也 花 香 平田 春雄
- 一金参千円也 花 香 平田 忠
- 一金参千円也 海岸通 伊藤 恒夫
- 一金参千円也 加茂 上田 滋
- 一金参千円也 東本町 伊藤 京次
- 一金参千円也 天神町 松崎 和吉
- 一金参千円也 赤崎 道中 英雄
- 一金参千円也 赤崎 道中 一生
- 一金参千円也 本町 松本 武子
- 一金参千円也 大河内北 若村 義人
- 一金参千円也 浜内 吉田 浩
- 一金参千円也 北条 山田 久幸
- 一金参千円也 小浜 外富 忠孝
- 一金参千円也 全参万円也

昭和47年度一般住民レントゲン検診について

(7月17日～7月21日実施)

部 落 名	該 当 者	受 診 者	受 診 率
大 河 内 北	2 1 2 名	1 3 1 名	6 2 %
大 河 内 南	1 8 9	8 6	4 6
天 神 町	1 6 6	1 0 9	6 6
浜 中	1 1 2	8 3	7 4
北 条	1 2 3	7 3	5 9
中 条	1 6 9	1 0 1	6 0
井 南	9 6	5 2	5 4
浜 内	1 5 0	9 3	6 2
小 浜	6 6	3 5	5 3
赤 崎	9 9	6 7	6 8
日 地	1 6 9	1 0 4	6 2
金 山 嶺	1 0 0	5 4	5 4
西 青 江	7 0	4 8	6 9
先 青 江	1 0 7	7 1	6 6
中 道	8 9	5 9	6 6
花 香 南	1 2 4	8 4	6 8
花 香 北	9 2	4 5	4 9
中 津 江	1 1 8	6 9	5 8
屋 戸	1 4 3	7 0	4 9
加 茂 町	9 7	4 9	5 1
海 岸 通	8 3	4 2	5 1
東 本 町	1 1 5	8 4	7 3
上 本 町	6 5	4 1	6 3
本 町	8 0	4 5	5 6
祇 園 町	1 8 4	9 8	5 3
下 村	2 2 3	1 2 2	5 5
中 野	2 6 8	1 5 5	5 8
東 天 田	1 2 7	9 4	7 4
西 天 田	1 5 3	1 1 3	7 4
宮 之 且	1 1 6	7 3	6 3
黒 潟 北	1 6 0	1 0 1	6 3
黒 潟 南	2 3 1	1 3 8	6 0
計	4, 2 9 6	1, 6 5 5	6 0
備 考	第二次レントゲン検診は10月2日より10月3日迄再度実施することになりました。今年まだ受けていない方は必ずこの機会にお受け下さい。		